

2025年度
群馬県立県民健康科学大学 看護学部
一般選抜試験問題

小 論 文

群馬県立県民健康科学大学

小論文試験問題 1

以下の文章と図をもとに各問に答えなさい。

国民生活基礎調査によると、2022(令和4)年6月2日における全国の世帯総数は5431万世帯となっており、その中で65歳以上の者のいる世帯の数は2747万4千世帯(全世帯の50.6%)となっている。下記の図は本調査によって得られた65歳以上の者のいる世帯の世帯構造の年次推移である。

なお、世帯とは、住居および生計をともにする者の集まり、または独立して住居を維持し、もしくは独立して生計を営む単身者をいう。

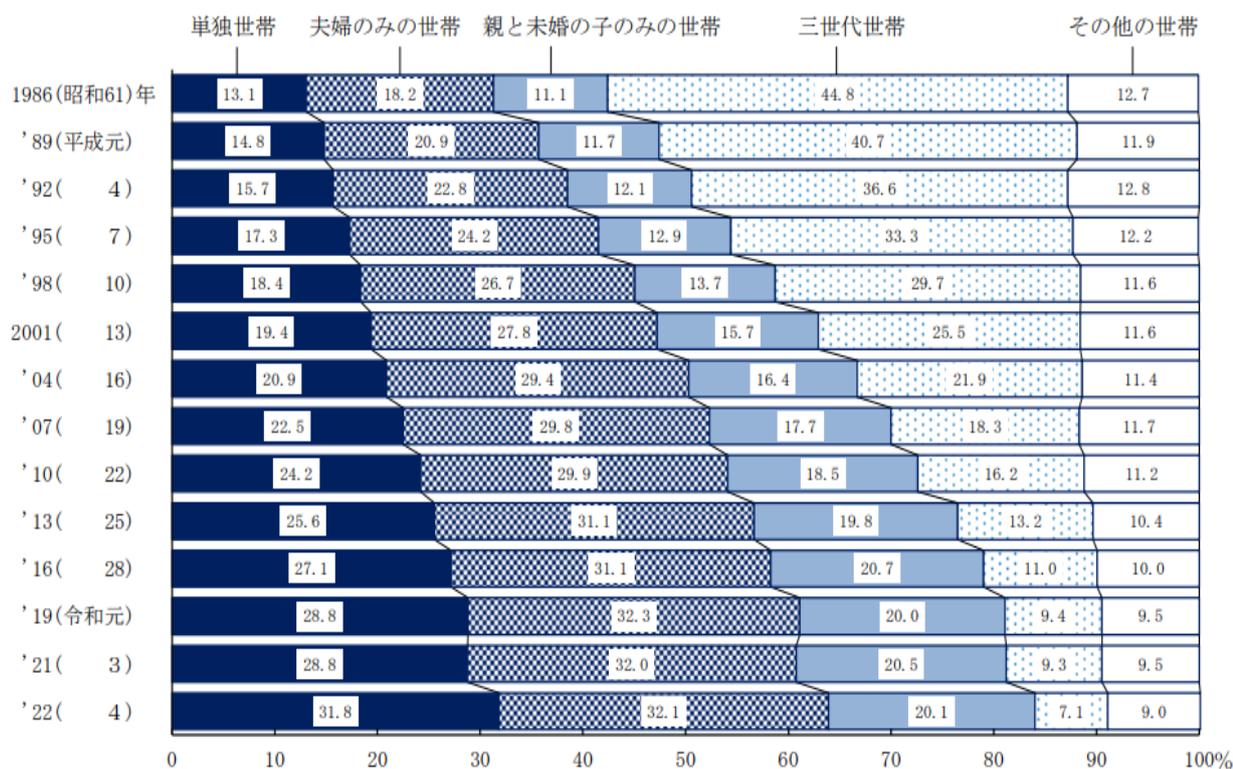


図 65歳以上の者のいる世帯の世帯構造の年次推移

- 注：1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。
- 2) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。
- 3) 2020(令和2)年は、調査を実施していない。
- 4) 「親と未婚の子のみの世帯」とは、「夫婦と未婚の子のみの世帯」及び「ひとり親と未婚の子のみの世帯」をいう。

出典 厚生労働省：2022(令和4)年 国民生活基礎調査の概況を一部改変し引用

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa22/index.html> (2024年8月27日アクセス)

- 問1 1986（昭和61）年における65歳以上の者のいる世帯の世帯構造について、60字以内で説明しなさい。
- 問2 1986年から2022年にかけて、65歳以上の者のいる世帯の世帯構造にどのような変化があったと考えられるか、120字以内で説明しなさい。
- 問3 1986年から2022年の三世代世帯が占める割合の変化は、家族にどのような影響を与えていると考えられるか、300字以内で述べなさい。

群馬県立県民健康科学大学

看護学部看護学科

2025年度 一般選抜

小論文試験問題2

次の文章を読み、各問に答えなさい。

今、わたしたちの暮らしはとてもしがしくなっている。それは世の中にたくさんの情報があふれていて、それを取り込もうとして人々がいつもスマホやインターネットに向かい合っているからだ。まるで人とつきあうことはそっちのけで、スマホとばかりつきあっているように見える。

でも、そんなにたくさんの情報を集めても、たくさんの人と仲よくなれるわけではない。むしろ、まだ顔も知らない人から相談をもちかけられたり、いろんな誘いがあったりして、目の前のことができなくなる。さまざまな情報が乱れ飛ぶので、なにを信用していいかわからなくなり、不安にかられる。知らない人からやっていることを非難されたり、自分の行動をどこかでだれかが見ているような気がして不安になり、落ち着かなくなる。

今の世の中には、知りたいこと、知らなくてはいけないこと、やってみたいこと、やらなくてはいけないこと、が満ちあふれているような気がする。でも、ほんとうにそうだろうか。そんなにたくさんを知ることを知る必要もないし、すべてをやらなくてもいいんじゃないだろうか。ほんとうに自分が知りたいこと、やりたいことはなんなのか、じっくり考えてみたいと思う。

それにはまず、自分が何者なのかを知る必要がある。人間はこの地球に暮らす生き物の一つだ。情報は変わらないけれど、生き物はつねに成長して変わっていく。今日の自分は昨日の自分ではないし、明日もちがった自分になるはずだ。好みも変わるし、友達との関係も変わる。そのなかで、自分というものを保ち続けるのはなかなか難しいことなのだ。

なぜなら、人間は自分を自分だけではつukれない。それは自分の顔を自分で見ることができないことといっしょだ。鏡に映った自分を見て、ああこんな姿なのかと納得することはできても、他人の目に映る自分の姿はその瞬間には見えない。だから、自分とはなにかを理解するには、他人の反応を見る必要がある。逆に、わたしたちは他人の顔も姿もはっきりと見ることができる。だから、他人の表情やしぐさによって、ああこれが怒るということか、悲しいという表情か、と納得することができる。そして、そんな表情やしぐさを自分もしているということを、他人の反応によって知ることができるのだ。

いつのころか、人間はそんな表情や行動を言葉で表現するようになった。悲しい、うれしい、つらい、こわい、といった感情を言葉で表し、それをみんなで共有できるようになった。今、それが情報になってスマホやインターネットにあふれているのである。でも、それは本来直接会って感じるものだと思う。言葉は世界で起こるいろいろな出来事を抽象化し、簡潔に伝えるための道具だ。だからこそ、わたしたちは会うことができない遠くにいても、もはやこの世に存在しない過去の人々の声であっても、そのメッセージを伝え聞くことができるのである。でも、言葉は情報にはならないものをたくさんそぎ落としている。たとえば、怒りや悲しみはいくつもの種類や程度の差があるのに、それは言葉ではなかなか表現できない。怒っているように見えても、ほんとうはだれかに助けてもらいたがっていたり、けんか腰に見えても仲直りしたがつているような態度は、その場に居合わせなければ理解することが難しい。

(後略)

出典 山極寿一：人生で大事なことはみんなゴリラから教わった、家の光協会、2-4、2020 一部改変

問1 下線部の「じっくり考えてみたい」とはどのようなことなのか、著者の考えを 200 字以内で述べなさい。

問2 課題文の内容を踏まえ、あなたがどのようなことを大切にして他者との関わりをもってきたのか、300 字以内で述べなさい。

群馬県立県民健康科学大学
看護学部看護学科
2025年度 一般選抜
小論文試験問題1 解答用紙1

受験番号	氏名

問1

60

問2

60

120

次ページに続く

群馬県立県民健康科学大学
看護学部看護学科
2025年度 一般選抜
小論文試験問題2 解答用紙1

受験番号	氏名

問1

100

200

次ページに続く

注 意 事 項

- 1 表紙1枚、問題用紙4枚、解答用紙4枚、下書き用紙2枚、裏表紙（注意事項記載）1枚です。
- 2 解答用紙の所定の欄に、必ず受験番号・氏名を記入してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。下書き用紙に解答を記入しても、採点の対象とはしません。また、解答用紙の「得点欄」には何も記入しないでください。ホチキスは外さず解答してください。
- 4 問題用紙・解答用紙に印刷不鮮明や汚れ等がある場合は、無言のまま手をあげて、監督員の指示に従ってください。
- 5 試験中に質問や用便等の用件がある場合も、無言のまま手をあげて監督員の指示に従ってください。
- 6 試験開始後、途中退室は認めません。
- 7 問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ってください。
- 8 不正行為や、他の受験者に迷惑となる行為を行った場合は、失格とすることがあります。